

製品名: プロテインキナーゼ D2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86563**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:97 kDa; Observed MW:105 kDa

抗原情報

遺伝子名	Protein Kinase D2
別名	PKD2; HSPC187; nPKC-D2
遺伝子ID	25865
SwissProt ID	Q9BZL6
免疫原	ヒトプロテインキナーゼ D2 の合成ペプチド

背景

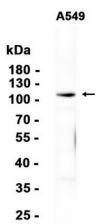
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、セリン/スレオニンプロテインキナーゼであるプロテインキナーゼ D (PKD) ファ

ミリーに属します。このキナーゼは、胃癌細胞において、ホルポールエステルだけでなく、コレシストキニン B 受容体 (CCKBR) を介してガストリンによっても活性化されます。トランスゴルジ体 (TGN) においてジアシルグリセロール (DAG) に結合し、TGN からの基底外側膜タンパク質の排出を制御していると考えられます。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



タンパク質キナーゼ D2 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した A549 細胞抽出物のウェスタン ブロット分析。